

五霞 議会だより



No.160



JR 新幹線下堤防工事現場視察



写真提供：利根川上流河川事務所

JR 新幹線下堤防工事現場全景（下流から望む）

- 令和3年第2回定例会
- ここが聞きたい一般質問
- 議会トピックス・議会の動き



「議会だより」を
スマートフォンな
どで見ることがで
きます。

令和3年第2回定例会（6月）

一般会計補正予算

9,449万2千円 を追加し、
総額46億2,411万6千円



令和3年第2回定例会が、6月7日から11日までの5日間の会期で開催されました。

本定例会では、教育長の任命同意や監査委員の選任同意、町道路線の変更及び令和3年度一般会計・特別会計補正予算など9件の議案等が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決されました。

一般質問では、3人の議員が登壇し、子育て支援、新型コロナ対策、高齢者支援など町政全般にわたり質問をしました。

○一般会計の主な補正予算項目

歳入

項目	補正額	補正理由
財政調整基金繰入金	+6,688万2千円	歳入調整による増額
自治総合センターコミュニティ助成金	+190万円	宝くじの社会貢献広報事業として行われているコミュニティ助成事業の決定に伴う増額
子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金	+575万円	国が実施する低所得の子育て世帯に対し、児童1人あたり5万円の特別給付金を支給することに対する補助金の増額

歳出

項目	補正額	補正理由
マイナポイント設定支援 業務委託料	+100万4千円	消費活性化対策におけるマイナンバーカード普及促進を図るため、マイナポイントを付与できるようカード取得者に対し、設定支援を行うことによる増額
地域活動用備品購入費	+190万円	各行政区の自主防災会に配備する発電機の購入による増額
学校整備設計業務委託料	+5,000万円	令和6年度の新小学校開校に向けて、施設の整備工事設計を行うことによる増額



問 購入する発電機の仕様と耐用年数は。

答 ガス発電機で、カセットボンベを燃料として使う仕様で、低騒音型を購入する予定です。また、耐用年数は約10年です。

問 学校整備にあたり、整備の素案はある程度決まっているのか。

答 準備委員会等から施設についての意見をいただき、基本構想の策定を進めています。基本構想の策定後、補正予算に計上した施設整備の基本・実施設計の委託※を行います。
(※令和3年6月に関係補正予算を議決しました。)

問 町のマイナンバーカード交付率は。

答 令和3年5月31日時点で、55.4%です。全国では31.7%、茨城県では30.8%です。

問 マイナンバーカードと健康保険証との紐付け状況は。

答 令和3年10月からの利用開始に向けて準備を進めているところです。また、紐付けは自動でされるものではなく、個人からの申し込みにより紐付けがされます。



令和3年第2回定例会で可決した議案等は下記のとおり。

議案第34号	五霞町教育委員会の教育長の任命同意について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定に基づく任命同意 千葉 道子 氏 (再任)
議案第35号	五霞町監査委員の選任同意について 地方自治法第196条第1項の規定に基づく選任同意 議会選出監査委員 伊藤 正子 議員
議案第36号 ⑧	町道路線の変更について 幸主地内における1路線 町道2198号線 変更後の延長331.5m、幅員2.8m～4.5m
議案第37号 ⑧⑨	令和3年度五霞町一般会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ9,449万2千円を追加補正
議案第38号 ⑧	令和3年度五霞町水道事業会計補正予算(第1号) (資本的収入及び支出) 支出340万円の追加補正
報告第1号	令和2年度五霞町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告 繰り越した事業は9事業、金額は3億5,857万4千円
報告第2号	令和2年度五霞町公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告 繰り越した事業は下水道施設整備事業で、金額は1億2,757万円
報告第3号	令和2年度五霞町水道事業会計継続費繰越計算書の報告 繰り越した事業は川妻浄水場浄水設備増設工事で、金額は3,639万6千円
報告第4号	株式会社五霞まちづくり交流センター令和2年度経営状況の報告 令和2年度 道の駅「ごか」の経営状況について報告

⑧ = 総務文教委員会付託 ⑨ = 経済建設委員会付託

お詫びと訂正

令和3年6月発行の五霞議会だより第159号の2ページ「会計別予算規模」の記事において、数字に誤りがありましたので、次のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

正

(単位：千円)

会計名	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	4,470,000	4,500,000	<u>△30,000</u>	△0.7

誤

会計名	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	4,470,000	4,500,000	△300,000	△0.7

山本 芳秀 議員



問 特産品開発について

答 特産品としてのポテンシャルを秘めた町の農産物をピックアップし各種団体とも連携をとり自慢できる特産品開発を進めていく

地域経済活性化と地域のPRという大きな目的のもと、特産品開発が全国各地で行われているが。

問 コロナ禍の中、停滞感があると思われるが、五霞町の現状は。

産業課長 五霞町には特産品としてすぐに思い浮かぶものがないのが現状です。そこで、今年度から知名度、集客力と

もに町で一番の道の駅ごかを拠点に、地域資源の掘り起こしや新たな商品開発を目的として、(株)五霞まちづくり交流センター内に新たな部門「ごかみらいLab(ラボ)」を設置したところ。農産物を使ったまちづくり、ふるさと納税への商品展開等、二つを柱として事業展開していきます。



五霞町産八つ頭と他地域の八つ頭との差別化を図るため、五霞町商工会が「五霞いも」として特許庁に商標登録したロゴマーク

問 子育て支援について

答 小学校統合を町発展の一つの契機として、跡地有効利用と統合後の子育て支援の充実に向け取り組む

少子化・人口減少社会の中、その課題克服に向けスピード感ある行政運営が求められるが。

問 町立小学校の統合に向け東小学校の跡地有効利用構想は。

都市建設課長 多様な土地利用ができるよう協議を進め、町の活性化等に貢献できる場となるよう検討していきます。

問 地産地消の観点から学校給食の自校給食への移行はあ

教育次長 昨年10月、五霞町立学校のあり方検討会具申書においても自校給食を検討するよう要望が出ています。財政面等を考慮し、様々な方法を含めて更なる検討が必要と考えています。

問 下校時におけるスクールガードの協力者が少ないようだが、その対策は。

教育次長 区長会議等で活動内容を改めて周知し、下校時の更なる充実等、地域全体で子供たちを見守っていきたくと考えています。

問 児童館及び放課後児童クラブの運営状況は。

健康福祉課長 児童館については、午前中は就園前の乳幼児と保護者を対象に、午後からは学童向けの行事を行っております。また、放課後児童クラブは町内2つの認定こども園で月曜日から土曜日まで実施しています。今後は、児童館と放課後児童クラブの役割を考慮し、利用者のニーズにより児童館の開館時間の見直しや放課後児童クラブの高学年受け入れについても検討していきます。



問 コロナ禍における行政サービスBCP（業務継続計画）は図られているのか

答 町は、新型コロナウイルス感染症対策行動計画及び事務対応方針に基づき、必要な業務を維持できるよう業務継続調査を実施し、行政機能の維持に努めている

現在ワクチン接種を進めている状況で、今後ウィズコロナの中で行政サービスの継続をどのようにしていくのか。

問 役場内で感染者やクラスターが発生した場合の対応は。また、分散・代替施設での業務やマイナンバーの活用は。

まちづくり戦略課長 職員が感染した場合、事前に定めた代替職員を配置して対応します。また、クラスターが発生するなど、一部窓口を閉庁せざるを得ない場合は、別のフロアや会議室、出先施設で業務を行うことで行政サービスへの影響を最小限とする対策

を講じていきます。その際は、速やかに周知するとともに、一日も早い復旧に努めます。なお、マイナンバーカードによるコンビニ利用は、住民票の写しと印鑑登録証明書の交付が可能です。

行政サービスBCP(業務継続計画)とは

災害時に行政自らも被災し、人、物、情報等利用できる資源に制限がある状況下において、優先的に実施すべき業務（非常時優先業務）を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定めた計画です。

問 コロナ禍で見た、町の医療サービスの体制は

答 町のコロナ陽性患者は茨城県で指定している、然るべき医療機関への入院先が確保されており、町医療体制に支障はない

問 町の医療の現状と課題は。
健康福祉課長 町には内科系二つの医療機関があり、かかりつけ医等として、慢性的な病気の診療や健康相談を担当し、精密検査や専門的治療が必要な場合は近隣総合病院等を紹介する体制が確立されて

います。また、町内の救急患者が搬送されている済生会栗橋病院の移転が決定するなど、様々な課題もありますが、民間病院の移転情報もあるので、今後も関連機関と連携し、町医療体制を確保していきます。

問 アフターコロナで町の方向性は。
町長 コロナの経験から従来の仕組みに適宜見直しを加えていきます。住民、企業、行政三位一体の協働から協創への変化を図り、SDGsの理念を踏まえながら、持続可能なまちづくりを推進していきます。

SDGs(持続可能な開発目標)とは

2030年までに地球上の誰一人として取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の17の目標です。社会、経済、環境における世界が直面する課題を解決するため、政府、企業、個人がそれぞれの立場で目標達成に向け行動することが求められています。



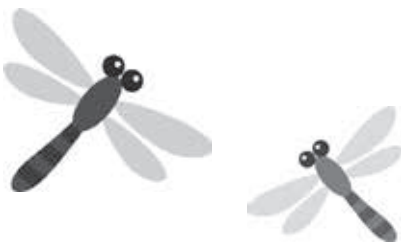
問 高齢者の生活支援について

答 きめ細やかな高齢者の支援づくりを進めていくのか。

コロナ禍において、町は高齢者の生活支援をどう考えていくのか。

問 コロナ感染禍の中で不要不急の外出自粛を強いられ、健康維持の低下を招かないためのフレイル対策は。

健康福祉課長 毎年、心身の状況を確認するためチェックリストによる診断を行っています。コロナ禍により外出の機会が減っていることから、運動機能の低下が増加するのではないかと危惧されています。感染状況を見ながら予防教室の開催を考えています。



フレイルとは

加齢により心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が弱くなった状態を指し、放置をすると要介護状態に陥る可能性が大きいと言われています。

問 生活に必要な交通移動手段「ごかりん号」の利用状況は。

生活安全課長 令和2年5月の利用者数は、前年5月と比べ、利用者数は約2割減少し、感染拡大に起因する外出控えによる影響が大きいと考えられます。

問 ひとり暮らし高齢者への支援は。自粛生活を強いられ、誰とも会話をしない日々があり、安否確認をしているのか。

健康福祉課長 感染予防に配慮し、直接訪問のかわりに電話での安否確認を行っています。社会福祉協議会が行っているひとり暮らしへの配食サービスでは、月2回自宅に伺い、お弁当を配達することで安否確認や健康状況の把握を行っています。

問 介護の「脱家族化」が進み、介護保険料は全国平均で6,000円を超えたが、町の介護保険料は。高齢者は、今後どれだけ負担をしていかなければならないのかという将来への不安があるが。

健康福祉課長 町の保険料基準額は5,750円です。介護予防やケアプランの点検などを行い、給付費の適正化、保険料の増加抑制に努めていきます。

問 住み慣れた家を様々な事情で手放さなければならないとき、町にはどのような支援があるか。

生活安全課長 町に存在する空き家等を有効活用できる五霞町空家バンク制度※の制定を予定しています。

(※令和3年7月1日に制定されました。)



● 議会トピックス ●

PFI 事業に関する勉強会に参加

5月26日、五霞町建設業協会主催による「PFI 事業に関する勉強会」が開催され、役場職員や五霞町議会議員も参加しました。

勉強会は、リモート形式で行われ、講師より「PFI 事業への取組みについて」の講義を受け、役場職員や議員より様々な質疑がなされました。



○ PFI 事業とは

(Private Finance Initiative : プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法で、国や地方公共団体等が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスの提供を目指すもの。

議会の動き (6月～8月)

6月 7日	第2回定例会初日	6月 21日	議会全員協議会	8月 10日	広報編集特別委員会
6月 8日	総務文教委員会	〃	現地視察調査 (川妻地内)	8月 23日	議会運営委員会
〃	経済建設委員会	7月 13日	広報編集特別委員会	〃	議会全員協議会
6月 9日	一般質問	7月 20日	行政視察受入れ (つくばみらい市議会)		
6月 11日	第2回定例会最終日	7月 26日	議会全員協議会		
〃	広報編集特別委員会				

**次回
定例会**

9 / 6 (月) ～ 9 / 17 (金) を予定

一般質問は **9 / 15 (水) ・ 9 / 16 (木)** を予定しています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程を変更する場合があります。

※詳しくは、議会事務局又は町公式ホームページでご確認ください。

広報編集特別委員会

委員長	黛	丈夫
副委員長	江森	美佐雄
委員	新井	庫
	植竹	美智雄
	山本	芳秀
	小野寺	宗一郎